

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第42号

古牧だより通算136号

24年度 福祉大会盛大に開催

誰もがみんな、心豊かに、住みよい福祉のまちに!!

福祉部会主催の「福祉大会」が平成24年5月25日(金)古牧公民館において市から社会福祉協議会の島田課長さんと地区内の市議会議員4名の方のご出席をいただき、福祉関係者総勢150余名が集まり、盛大に開催されました。

まずはじめに「誰もがみんな、心豊かに、住みよい福祉のまちづくり」を永遠のテーマとする部会活動方針が示されました。

地区内の福祉関係に携わる者が一堂に会し、福祉に関わる事項について大会を行う意義は非常に大きいし、福祉への意識が高まったと思います。

小林逸郎福祉部会長から、福祉事業は、間口も広いし、奥も無限に深いが、古牧地区も都市化が進み、人口26,000余人の古牧地区内で生活する者として、「ふれあい、支えあい」が深まる福祉活動にしようとのごあいさつをいただきました。

また、本年度は市の地域やる気支援事業の補助金をいただき、子育てと世代間交流を一つにした事業がスタートしました。この事業が軌道にのるよう、皆様のご協力をお願いします、と担当副部長からの呼びかけがありました。

大会は、川端区・中村区・荒屋区の3地区の代表者から活動報告がありました。いずれの区も目的は一つですので、そう違いはありませんが、それぞれ報告内容が濃く、区の独自性が出ておりました。



特に荒屋区は、発表者の現役時代の体験話もまじえて発表され、分かりやすくてよかったという声が沢山聞こえてきました。

また、3区の発表を聞いて、福祉について何も分からなく参加しましたが、お話を聞いて参考になり、福祉の重要性を改めて感じたというご意見もありました。

来年も参加したいという声もありました。古牧地区に限らず、高齢化が急速に進んでいる中、福祉活動事業は年々重要となります。

発表のあとは、松本市社会福祉協議会四賀地区センターの花村一枝先生の「期待される地域福祉活動」と題しての講演がありました。古牧地区と四賀地区とは環境は大きく異なりますが、事例を挙げてのお話でしたので、多くの皆さんが感銘を受けたことと思います。

この福祉大会の前身は、福祉推進員全員を対象にした研修会でしたが、平成22年4月の住民自治協議会発足と同時に「福祉大会」となり、本年度で3回となります。

いずれにしてもこの「福祉大会」は、福祉健康部の超目玉事業です。回を増やすごとに充実していくことを期待します。(福祉部)

平成24年度

地域やる気支援補助金決定!!

皆で支えよう!「地域の宝・子どもたち」

これからの時代を担う子どもたちを地域で支えていこう、子どもたちと保護者のみなさんやお年寄りの皆さん、皆で時と場所を共有しふれあうことにより、子どもたちには健やかな成長を、お年寄りの皆さんにはいつまでも健康で豊かな日々を、そんな認識・おもいで、子育て支援事業と世代間交流事業をセットし一つの事業として市のやる気支援補助金事業に申請しました。去る5月6日、市主催の公開選考委員会でプレゼンテーションを行い、実施承認を頂くことができました。

題して、「みんなで支えよう!地域の宝・子どもたち」です。具体的な活動はこれからですが例えば、子育て広場に他の区にお住まいの皆さんにもお出でいただくことにより、



交流の輪をひろげていくとか、お年寄りも参加する子育て広場の実現とか、いろいろな形を取り入れていきたいと思えます。

また、グラウンドゴルフやマレットゴルフの道具なども充実させ、子どもたちと大人がふれあう機会づくりも充実させていきたいと思えます。

当事業に対するご意見、ご要望をお寄せください。また皆さんの積極的な当事業への参加を期待しています。

(福祉部)

地域に根付く防犯パトロール

西尾張部区では、区の役員全員が防犯帽子と防犯タスキを用意し、区の役員会を始め、区の様々な事業にはかならず防犯帽子とタスキを着用し、集い合う場所まで来る時も、また帰りも家につくまでパトロールをしています。地域の防犯は、こうした皆様方の地道な努力によって、大きく抑止されると思えます。

5月9日には学校と地域で子どもを守る連絡会が行われ、各学校長を始め82名が参加しました。安全部では、川端地区、南高田地区からパトロールの様子を発表しました。

(安全部)



春のゴミゼロ運動実施

春のゴミゼロ運動・河川清掃を古牧全地区で実施しました。

河川清掃



春の河川清掃 (南高田)

5月3日(日)

午前8時30～午後4時

区内用水堰 7系統

参加人員 71名

公園・道路



公園・区内道路、側溝、
県道インター線 (南高田)

5月27日(日)

午前6時～7時30分

公園3ヶ所 参加人員 75名

道路・側溝 参加人員 465名

大勢の皆様のご協力をいただき道路、公園もきれいになりました。

又、側溝もきれいになりこれからの梅雨の季節に備えることができました。

(環境美化部)

3年目を迎えた地域子育て支援

古牧13地区全区で発足した「子育て支援」もすっかり定着し、軌道にのってまいりました。

各地区の特色を活かしたユニークでアイディアに富んだ支援に参加者もどんどん増えています。参加した方の笑顔が私達の喜びです。

各地区年6回～11回とまちまちですが、区民一体となって、地域の子どもはみんなで育て支え合っていこうと支援に情熱を燃やしています。

民生児童委員協議会の子育て支援活動に参加したお母さん達の自主的グループが結成されています。

グループ名は「アンパンマンキッズ」

グループが出来て10年以上になります。
(会員は30名を超えています。)

年会費ほんの少々、自主的に計画・参加

<例>◆三重公園に集まろう

◆タイ出身のお母さんにタイ料理を
教えてもらおう

◆古牧公民館でクリスマス会を開催
参加しよう！等々

嬉しいこと

1. 横のつながりが広がります
2. 参加は自由です
3. 情報交換の場となっています

古牧小学校

1・2年生の交通安全教室開催

4月18日、古牧小学校では、1年生、2年生の低学年を対象とした交通安全教室が開催され、安全部からは8名が参加し、交通支援センターの指導員さんとともに、講習を行いました。
(安全部)



子育て支援ある日の風景



3ヶ月半の赤ちゃんが初めて参加した時のこと!! お母さんから離れなかった3才児が、赤ちゃんをとってもかわいがり、つききりで世話をしていました。

言葉の原点は、胎内で聞いたお母さんの声。言葉は人が語ってこそ命が宿ります。

体に響く言葉は大切な心の動きを伝える不思議な世界 それは「絵本」です。

ミルクの栄養と同じように心の栄養を!!

子育て支援 各所へのお越しを!

楽しい出会いをお待ちしております

(子育て支援部)

ホームページがリニューアルしました。ぜひご覧ください。



ホームページを見るには、

ウェブ 画像 動画 辞書 知事録 地図 リアルタイム 一覧

古牧地区住民自治協議会

検索

「古牧地区住民自治協議会」と入力し検索するか、URL : <http://www.komakichiku.com> を指定してみてください。
(広報部)

お詫び

平成24年5月15日発行のぶらネットこまき41号、1ページの「企画調整委員および役員」の名簿中に誤りがありましたので、訂正させていただきます。

(誤) 公民館部会長 竹内文義 (南高田)

(正) 教養文化部会長 竹内文義 (南高田)

協力会員募集

長野市社会福祉協議会 地域たすけあい事業

通院のお手伝い 福祉移送

お身体が不自由で公共のバスに乗るのが困難だという方・車イスの方を、病院・リハビリ・介護施設等へお連れします。
(有償ボランティア)

都合のよい日に運転を協力ください!

- ★二種免許お持ちの方……すぐに運転可能です
- ★普通免許 “ …… 2日間の講習が必要です

行き先

長野市内の病院・個人病院
日赤・中央病院・市リハビリセンター・
県リハビリセンター などなど…

古牧福祉自動車
あいりーん号



くわしくは、お問い合わせください

古牧福祉サービスセンター (古牧支所内)

☎ 244-5522 福祉コーディネーター 小林ひと美

ちよつと拝見 PART II 第2回

中村

わが町中村区

中村区長 小林 克己

中村区は古牧では西方に位置し、人口は1,100人余の町です。かつては長野市の穀倉地帯として、美しい田園風景だったろうと想像しますが、現在は一般住宅とアパートが寸分なく建ち並び、市役所等にも近くとても住環境に恵まれた地域といえます。

古昔は裾花川の氾濫により廃村になった歴史もあるそうで、往古の人々の苦難が偲ばれます。その為か櫻ヶ岡中(昔は川端中学校)の南を南下し、南高田の西光寺の南沖を流れていた裾花川を現在の犀川へ迂回させる工事を行なった様です。西光寺の先代ご住職のお話で、昔寺の南沖の裾花川に行く舟が望見されたということです。

町内には三重公園、中村遊園地があり、この維持管理も町の重要な仕事です。市の給食センター跡地の遊園地には桜の古木が何本も

あり、毎年美事な花を咲かせ福祉推進委員会の皆様の手作りの御馳走を並べてのお花見会は大変楽しい行事の一つです。

又安土桃山時代建築と考えられる「守田廻神社」の本社殿は市の文化財になっておりま



す。県庁よりまっすぐ西尾張部の信号まで続く国道19号線により町は南北に分かれている為、町の特定の場所での交通事故多発への対策はさしせまった課題となっております。

しゃばえんびつ



梅雨

先月起きた積乱雲による竜巻、また寒気接近前の「疑似好天」が原因とみられる白馬岳の遭難死事故など、改めて自然災害の怖さを感じる。
六月は梅雨の季節、これも避

けて通れるものではない。

梅雨にも、強くない雨が長く続く梅雨、短期間に大量に降り、降らないときはすっきり晴れる梅雨。

梅雨の末期には、ときとして集中豪雨になることもある。同じ梅雨でもいくつもの顔があるが、できることなら荒れることなく平年並みの雨量であってほしい。

(小田切朋英)

古牧地区の世帯数と人口

24年5月1日現在

10,614 世帯

26,085 人

(男 12,862人 女 13,223人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 榎小池印刷